



<大分県LSIクラスター形成推進会議（産学官連携組織）>

- 【設立】 H17年4月 【会員数】 129会員（企業118、学7、官4）（設立当初：44会員）
- 【目的】 大手進出企業と地場企業の集積を活かし、品質・コスト・納期で競争力を有する半導体生産拠点をを目指す
- 【組織】 企画委員会 + 3 専門部会（イノベーション部会、マーケティング部会、ネットワーク部会）※予算額 約5千万円/年

1 販路開拓

○台湾企業とのビジネス交流

- ・ H23年に台湾電子設備協会とMOU締結（交流開始）
- ・ H25年からは、熊本県工業連合会等と連携し、**日台双方で商談会を毎年開催（昨年で10周年）**
- ・ 今年度は以下を実施
 - 4月 台湾企業との商談会 in大分（商談 64件）
 - 9月 台湾企業との商談会 in台北（商談 111件）

2 人材育成

○企業人材の段階に応じた研修機会の提供

（新任）基礎講座〔H17～〕（中堅）技術者塾 など

○企業技術者等による次世代人材育成

- ・ 大分大学「半導体概論」
- ・ 大分高専「半導体デバイス概論」 など
- ・ 今年度から、小中学生向けの体験講座も開始

3 研究開発

○研究開発に対する助成 ⇒ H17年以降、67件の研究開発を支援

- ・ ニッチトップ創出支援（1/2補助、上限400万円）〔例〕GaNパワーデバイス搭載の高性能パワーモジュール開発
- ・ ニューマーケット進出支援（2/3補助、上限200万円）〔例〕磁気事業の立ち上げに伴う計測機器等の試作開発

4 会員間・地域間連携

- ・ **災害時における相互協力に関する合意書（H31年）** ※合意会員（27社）は、相互扶助の精神で自ら適当と認める援助を行う
- ・ **大分県LSIクラスター、いわて半導体関連集積促進協議会、みえ半導体ネットワークとの連携協定（R6年7月）**
※ 3 県知事間の連携協定も同時締結（企業会の取組を下支え）

<大分県庁> ※大分県LSIクラスター形成推進会議への県負担金 約4,500万円/年

- ・ 県産業科学技術センターでのリスキリング研修（半導体デバイス評価技術研修 等）
- ・ 「中九州横断道路」の早期完成を国に強く要望 ※熊本県、宮崎県との3県要望活動 等
- ・ 工業団地開発推進事業：3ヶ年（R6～8年）の集中対策として、工業団地適地調査等の助成拡充